

東北森林管理局

山形森林管理署 もがみ支署通信

「身近にある森林をもっと知る」森林教室を開催



農林水産省ってわかるひと～？



ほら、こんなに真ん中だけ広いでしょ

か？」といった事を問題方式で生徒と考えて学んでいます。年輪については、丸太の切口の中心付近の年輪幅は広いのに対して、外側の年輪になると年輪幅が密になっていくことを生徒達に伝え、このことから、若い木の場合は成長が早く、すくすくと育っているのに対して、年輪を重ねていくと、50年生以降は年輪幅は密になっていき、大きな木でも成長がそれほど早くは進んでいないことを伝えていきます。そのため、小学生5、6年生が勉強する「光合成」の働きについても同時に学ぶようにしています。年輪からみると分かるように、若い木は沢山の二酸化炭素を取り入れて酸素を作りだしているため、森林を勉強する中で、理科や社会についても連動して学習していただけたらと感じています。

引き続き地域の子供達と関わり合いながら森林を身近に感じる学習会を継続していきます。

最上支署では毎年、真室川町立北部小学校（釜淵地区）の5・6年生を対象に森林教室の出前事業を行っています。

これは当最上支署が所在する真室川町の森林面積が約 88%を占め、特に釜淵地区から及位地区にかけて、前森山のふもと周辺を中心に昭和初期から約 500ha にも及ぶスギの植林が実施され、今現在「前森団地」として樹齢 100 年近くの立木が生育しているため、その団地を中心に学習を行っています。

北部小学校の生徒等にはこの身近にある「森」が、どのように地域に関わっているのかを勉強していただいています。

まずは「農林水産省」が、どのような組織で一つひとつの意味が「農」「林」「水」と構成されているのか説明をしたり「年輪は何故できるの



なるほどね、そういうことか



山形森林管理署 最上支署
〒999-5312 山形県最上郡真室川町大字新町字下荒川200-11
TEL:0233-62-2122/FAX:0233-62-2706

